

## 文教厚生委員会会議録

平成26年3月26日(水)

午後1時30分 開会

### ○澤田勝委員長

みなさんこんにちは。ただ今から文教厚生委員会を開会します。協議題1、閉会中の調査事項についてを議題とします。事前に素案を配布してありますので、お目通しいただいているかと思えます。これについて、協議したいと思えます。しばらく休憩します。

午後1時31分 休憩

午後3時08分 再開

### ○澤田勝委員長

委員会を再開します。休憩中に出た意見をまとめますと、中間報告について、1ページ目の26行目、「・・・を取り入れや」の部分「・・・を取り入れて」に。2ページ目の3行目、「児童生徒の安全を確保するためだ」を「児童生徒の安全を確保するため」に。同じく27行目、「このよう視察」を「このような視察」に。同じく29行目、「学校授業」を「教育活動」に。同じく31行目「効果がありそう。効果的な時期、人材を考慮し、予算を付けて実践したい」を「効果が期待でき、時期、人材を考慮し、予算を付けて実施すべきである」に。3ページ目、「よりよく生きる力を育む教育として、キャリア教育を推進しています。その一助として、幼保小中一貫教育を実施していますが」を「よりよく生きる力を育む教育として、「幼保小中一貫教育HANDAプラン」をベースにキャリア教育を推進しています。」に修正します。提言の部分についてですが、1つ目の学校運営協議会の推進についてですが、当初は学校が主体となり、ゆくゆく地域が主体となって運営をしていく。教師の負担が増えないようなシステムづくりが必要だということで、予算措置も必要ではないかということを書き留めたいと思えますので、改めて文章にします。次の地域力を活かすという部分に関しては、学校と地域、地域間もそうですが交流をさらに深めて、地域が主体となるような人材を発掘するようなきっかけづくりをする。そういった地域力を活かすことが必要ではないかということを書き留めたいと思えます。次の相互乗り入れ授業の重要性ですが、これについては現在やっている部分もありますが、児童生徒の乗り入れ授業と、教師の乗り入れ、交流の部分を分けて提言するというのを当局とも再度調整して文章にします。次のキャリア教育のさらなる充実については、割愛します。グローバルな人材教育についても当局と協議して提言できるようなら提言します。加えて、土曜授業に関しても提言にはなりません、学校現場と意見交換をするということにとどめたいと思えます。以上が協議いただいた内容だと思えますが、補足はありませんか。

### ○山本博信委員

小平市の担当者じゃないですけど、素晴らしい能力を持った方を発掘ということを書かれたんですが、能力のある方が能力を発揮できるような仕掛けづくりも必要かと思えますので、発掘だけでなく仕掛けづくりも考えていただけるとありがたいと思えます。

### ○澤田勝委員長

発掘だけでなく、能力を発揮できる仕組みづくりということですね。ありがとうございます

ます。そして、最後に副委員長からに提言もありました学校現場との意見交換会、お忙しい中ではありますが、4月10日前後に意見交換をさせていただくということで、お願いしたいと思います。以上で今日の協議題は以上になります。ほかに何かありませんでしょうか。

【「なし」と呼ぶものあり】

ありがとうございます。それでは、次回の委員会の日程調整を行います。しばらく休憩します。

午後3時16分 休 憩

午後3時20分 再 開

○澤田勝委員長

委員会を再開します。次回の日程につきましては、4月14日、月曜日の午後1時30分から、または15日、火曜日の10時からで開催したいと思いますのでよろしくお願い致します。以上で文教厚生委員会を閉会します。

午後3時21分 閉 会